

Eメールによるソーシャルワーク ～限界ある情報の中でSOSに対応する～

オンライン
開催



本研修は、本協会が実施している「子どもと家族の相談窓口」のEメール相談に対応できる、相談員養成を目的とした【子ども家庭支援人材養成モデル研修】の位置づけですが、Eメール相談の力をつけたいとお考えの精神保健福祉士ならどなたでもご参加いただけます。

コロナ禍で人の生活が見えにくくなりました。同時に子どもや若い世代の苦しさ、家の負担感が表面化してきました。需要の高まっているEメール相談。匿名での相談はSOSを出しやすいのかもしれませんが。これを受け、本協会では、Eメール相談の場「子ども家庭の相談窓口」を設置し、Eメール相談にも対応できる人材の育成に取り組むことにいたしました。本研修では具体的なEメール相談演習を行います。

Eメールというやり取りに限界がある媒体で、相談の在り方を考え、一緒に腕を磨きましょう。

参加費
無料

開催日：第1回 2021年10月24日(日) (申込締切：10月7日(木))
第2回 2022年1月10日(月・祝) (申込締切：12月19日(日))

プログラム(敬称略) ※プログラムは変更となる可能性があります

09:30	講義1「Eメール相談の心構え～相談の特徴と基本」 講師：加藤 雅江(本協会理事)
10:15	パネルディスカッション「各分野の強みを活かす～Eメール相談対応の経験から」 パネリスト：子ども・若者・家族支援委員会より(吉田 真由美) 分野別プロジェクト「発達障害」より(後藤 智行／赤堀 久里子) 分野別プロジェクト「スクールソーシャルワーク」より(山本 操里／岩永 靖) コーディネーター：大高 靖史(子ども・若者・家族支援委員会)
11:10	講義2「面接技術をEメール相談に活かすには」 講師：山本 由紀(子ども・若者・家族支援委員会 委員長)
12:10	休憩
13:30	演習(Eメール相談事例の検討・回答メールの作成) 演習進行：西隈 亜紀(子ども・若者・家族支援委員会)
16:45	演習総括 (17:00 終了)

第1回(10/24開催)の講義2までのプログラムのみ、ウェビナーまたはライブ配信で閲覧可能とする予定です

参加対象：本協会構成員、本事業にご興味のある精神保健福祉士

※今後Eメール相談対応をしていただくためには、本協会にご入会いただく必要があります

定員：各回 50名(先着順)

■詳細・お申込は→ <https://www.jamhsw.or.jp/a/2021email/>

＜お問合せ先＞公益社団法人日本精神保健福祉士協会 事務局

TEL:03-5366-3152 E-mail:office@jamhsw.or.jp

